

サービス産業活動図表集
平成30年6月の第3次産業活動指数の状況

平成30年8月10日

URL:<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

平成30年6月の第3次産業活動指数の状況

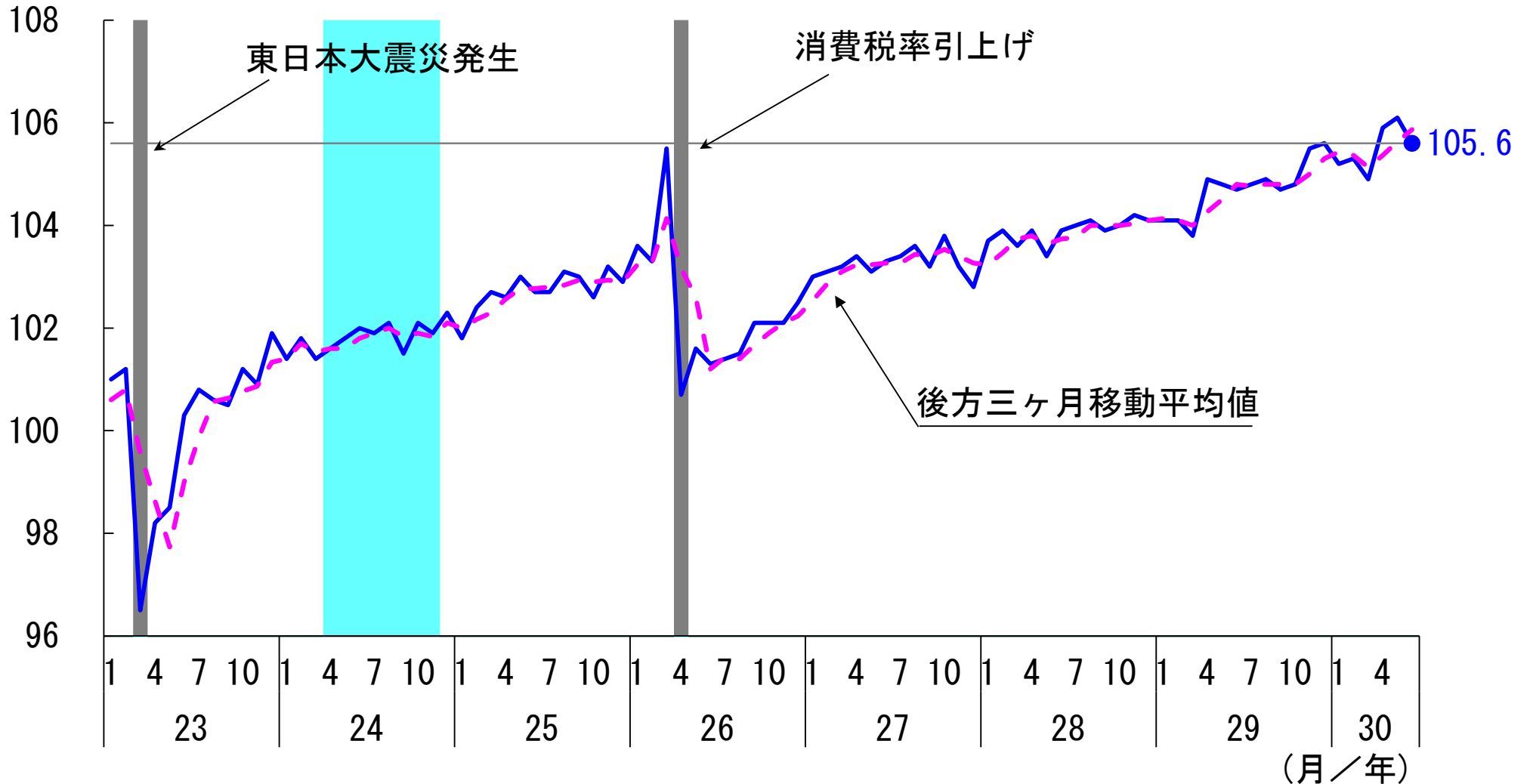
月次(平成30年6月分)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	105.6	105.7	105.7
前月比	- 0.5%	0.2%	- 0.2%
指数水準	30年 3月 104.9以来 ① 23年 3月 96.5 ② 23年 4月 98.2 ③ 21年 5月 98.5 ③ 23年 5月 98.5	30年 4月 105.8以来 I 26年 3月 107.1 II 29年11月 105.8 II 30年 1月 105.8 II 30年 4月 105.8	30年 3月 105.5以来 ① 23年 3月 97.9 ② 23年 5月 98.1 ③ 21年12月 98.5
前月比の動き	3か月ぶり- (30年 3月以来)	2か月ぶり+ (30年 4月以来)	2か月連続- (30年 5月以降)
前月比幅	27年11月 -0.6%以来 ① 23年 3月 -4.6% ② 26年 4月 -4.5% ③ 20年 4月 -1.7%	30年 4月 1.1%以来 I 23年 4月 3.2% II 26年 3月 2.6% III 22年 3月 1.5% III 23年 5月 1.5% III 23年 6月 1.5%	30年 5月 -0.3%以来 ① 26年 4月 -5.0% ② 23年 3月 -3.9% ③ 20年 4月 -2.5%
原指数 前年同月比	0.7%	0.8%	0.6%
前年同月比の動き	16か月連続+ (29年 3月以降)	15か月連続+ (29年 4月以降)	16か月連続+ (29年 3月以降)
前年同月比幅	30年 5月 1.3%以来 I 24年 3月 4.7% II 24年 5月 4.0% III 24年 4月 3.3%	29年12月 1.0%以来 I 24年 3月 7.4% II 24年 4月 4.6% III 24年 5月 3.8%	30年 5月 2.3%以来 I 24年 5月 4.1% II 26年 3月 3.3% III 27年 4月 3.1%

(注) I～IIIは平成22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

- ・平成30年6月の第3次産業活動指数は、105.6(前月比-0.5%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成30年3月の104.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成30年6月

「第3次産業活動は、持ち直しの動きがみられる」

基調判断の推移

- ・平成27年1月～4月 「持ち直している」
- ・平成27年5月～6月 「足踏みがみられる」
- ・平成27年7月～9月 「横ばい傾向」
- ・平成27年10月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成27年11月 「一進一退」
- ・平成27年12月～28年3月
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・平成28年4月～10月 「一進一退」
- ・平成28年11月～29年4月
「横ばい」
- ・平成29年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成29年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・平成29年11月～30年2月
「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成30年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・平成30年4月～
「持ち直しの動きがみられる」

(27年1月より基調判断を実施)

		第3次産業 総合	
			前期比(%)
28年	I期	103.7	0.4
	II期	103.7	0.0
	III期	104.0	0.3
	IV期	104.1	0.1
29年	I期	104.0	-0.1
	II期	104.8	0.8
	III期	104.8	0.0
	IV期	105.3	0.5
30年	I期	105.1	-0.2
	II期	105.9	0.8

(平成22年=100、季節調整済)

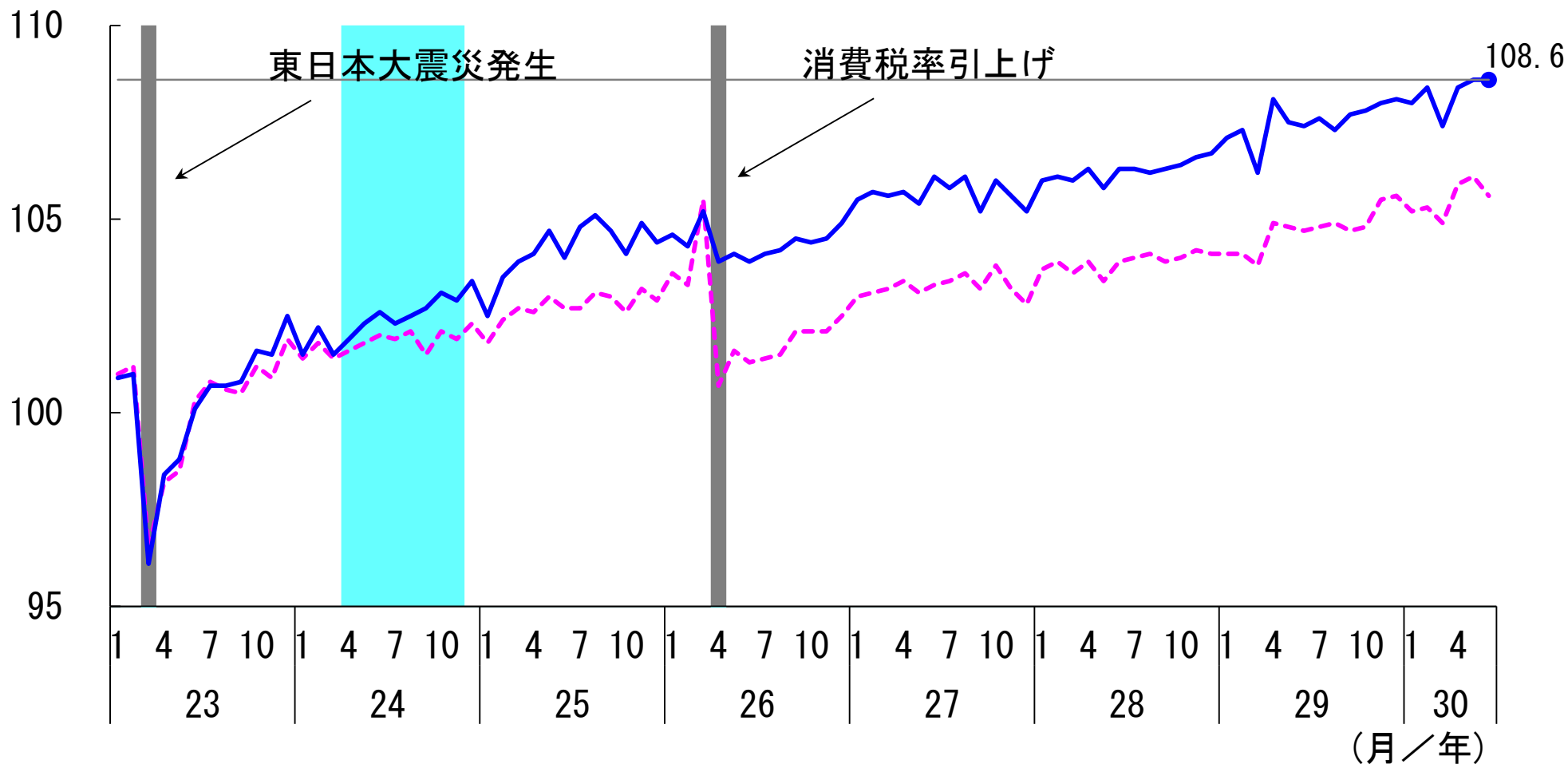
		第3次産業 総合		後方3か月	
		前月比(%)		移動平均	前月比(%)
28年	1月	103.7	0.9	103.2	-0.1
	2月	103.9	0.2	103.5	0.3
	3月	103.6	-0.3	103.7	0.2
	4月	103.9	0.3	103.8	0.1
	5月	103.4	-0.5	103.6	-0.2
	6月	103.9	0.5	103.7	0.1
	7月	104.0	0.1	103.8	0.1
	8月	104.1	0.1	104.0	0.2
	9月	103.9	-0.2	104.0	0.0
	10月	104.0	0.1	104.0	0.0
	11月	104.2	0.2	104.0	0.0
	12月	104.1	-0.1	104.1	0.1
29年	1月	104.1	0.0	104.1	0.0
	2月	104.1	0.0	104.1	0.0
	3月	103.8	-0.3	104.0	-0.1
	4月	104.9	1.1	104.3	0.3
	5月	104.8	-0.1	104.5	0.2
	6月	104.7	-0.1	104.8	0.3
	7月	104.8	0.1	104.8	0.0
	8月	104.9	0.1	104.8	0.0
	9月	104.7	-0.2	104.8	0.0
	10月	104.8	0.1	104.8	0.0
	11月	105.5	0.7	105.0	0.2
	12月	105.6	0.1	105.3	0.3
30年	1月	105.2	-0.4	105.4	0.1
	2月	105.3	0.1	105.4	0.0
	3月	104.9	-0.4	105.1	-0.3
	4月	105.9	1.0	105.4	0.3
	5月	106.1	0.2	105.6	0.2
	6月	105.6	-0.5	105.9	0.3

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

- ・平成30年6月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、108.6(前月比0.0%)と横ばい。
- ・今基準内最高の指数水準を維持。

(22年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業

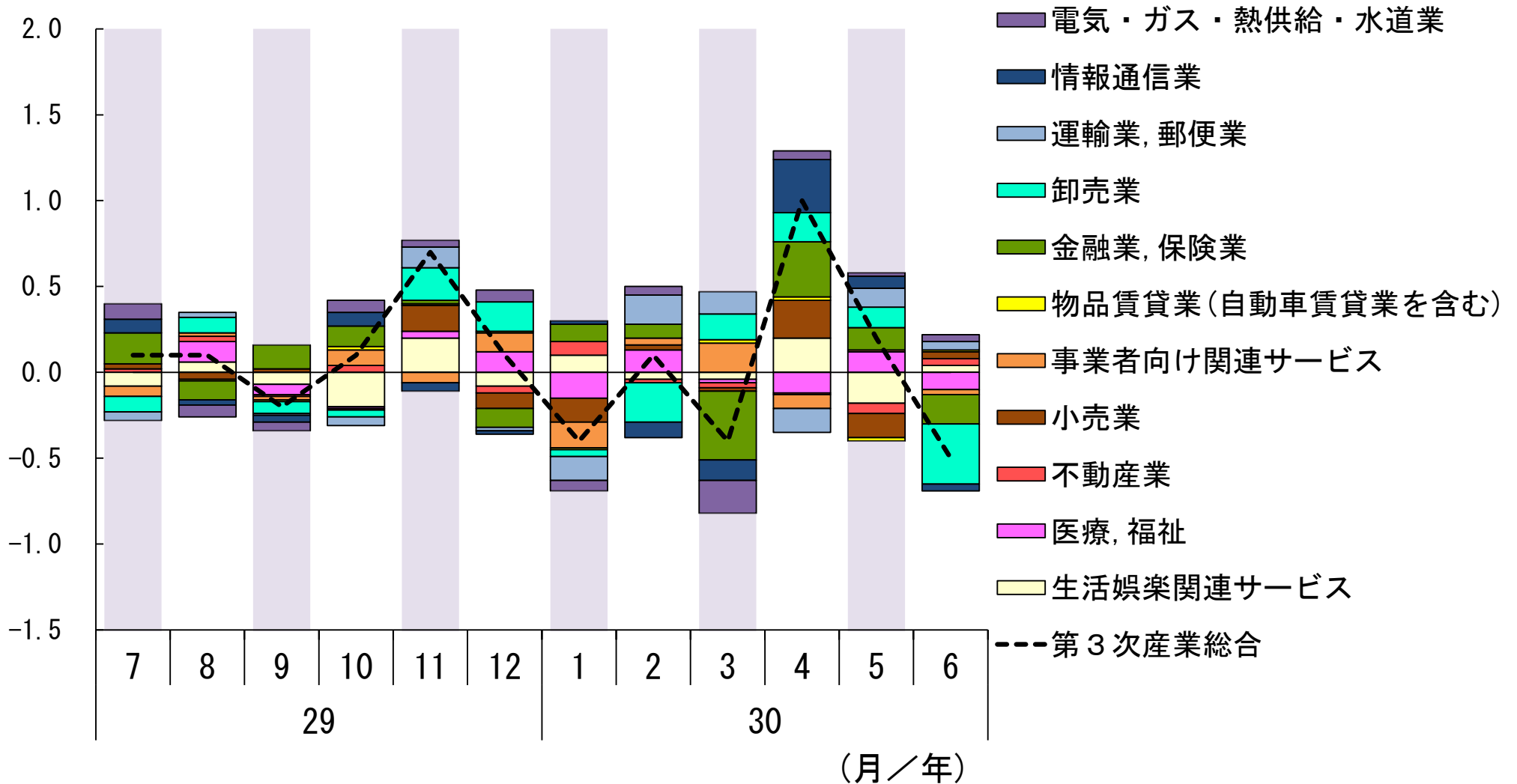


(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

平成30年6月の第3次産業活動指数は、運輸業、郵便業などが上昇したものの、卸売業などが低下したため、前月比-0.5%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

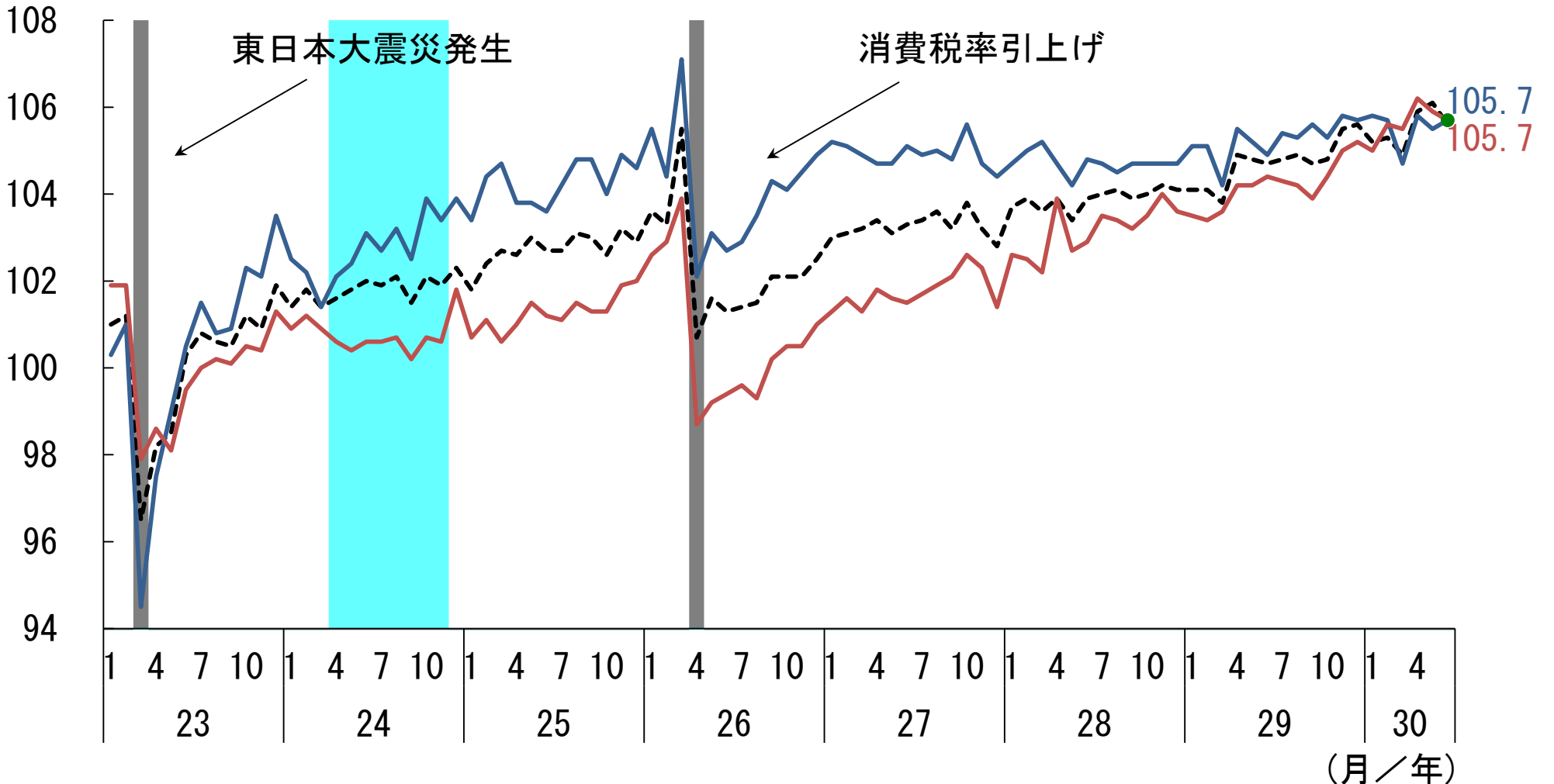
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	卸売業	-2.5%	-73.4%
	内訳業種	電気機械器具卸売業	-5.7%	-24.7%
		鉱物・金属材料卸売業	-2.9%	-11.8%
	2位の業種	金融業, 保険業	-1.6%	-35.2%
	内訳業種	全銀システム取扱高	-3.4%	-14.6%
		流通業務	-3.6%	-5.6%
3位の業種	医療, 福祉	-0.8%	-22.2%	
内訳業種				
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	運輸業, 郵便業	0.5%	11.5%
	内訳業種			
	2位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	1.7%	9.5%
	内訳業種	電気業	5.5%	15.3%
	3位の業種	不動産業	0.6%	9.5%
内訳業種	戸建住宅売買業	5.5%	4.3%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・平成30年6月の広義対個人サービス活動指数は、105.7(前月比0.2%)と2か月ぶりの上昇。
- ・広義対事業所サービス活動指数は、105.7(前月比-0.2%)と2か月連続の低下。

(22年=100、季節調整済) --- 第3次産業総合 — 広義対個人サービス — 広義対事業所サービス

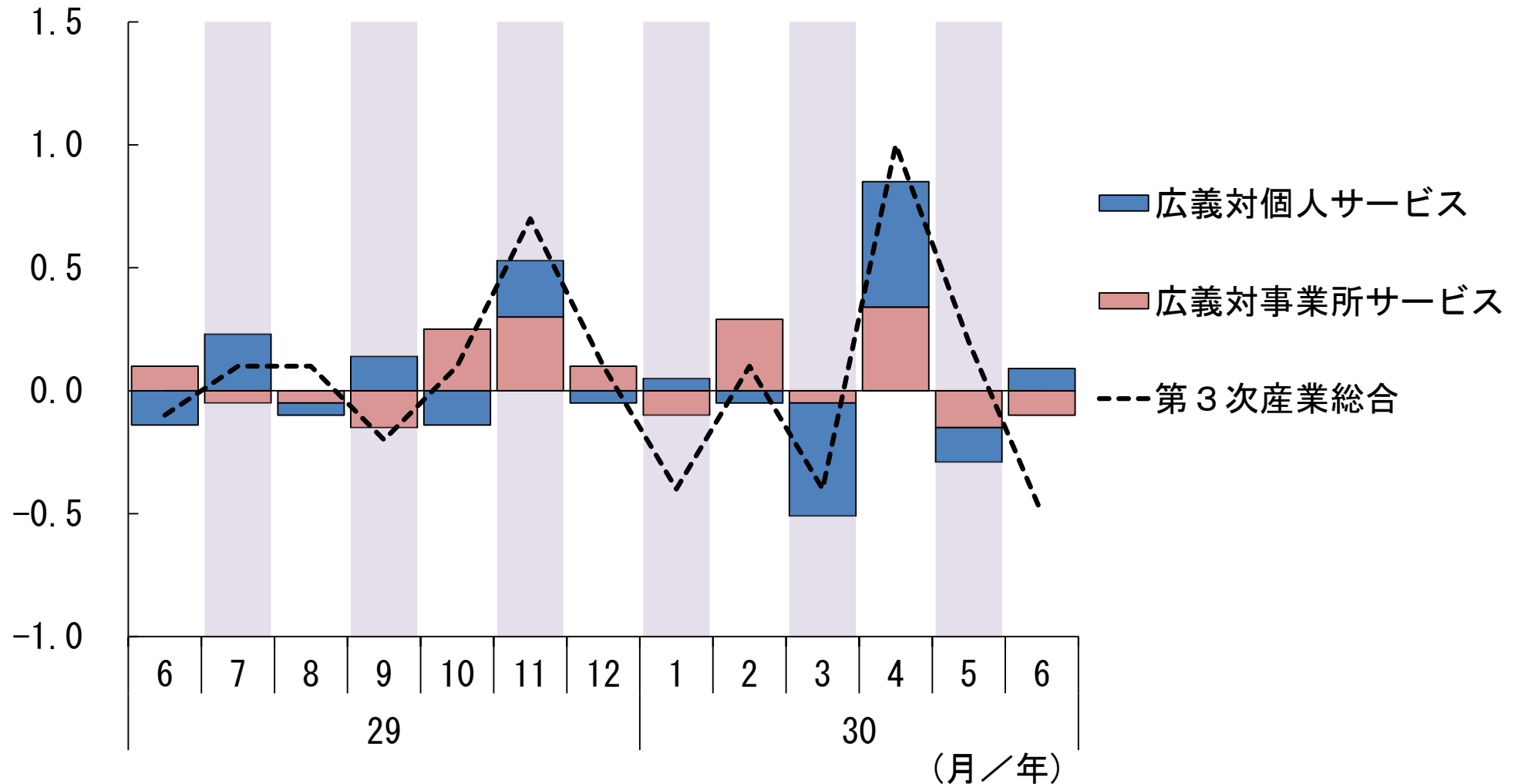


(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 平成30年6月の第3次産業活動指数は、広義対個人サービスが上昇したものの、広義対事業所サービスが低下したため、前月比-0.5%の低下。

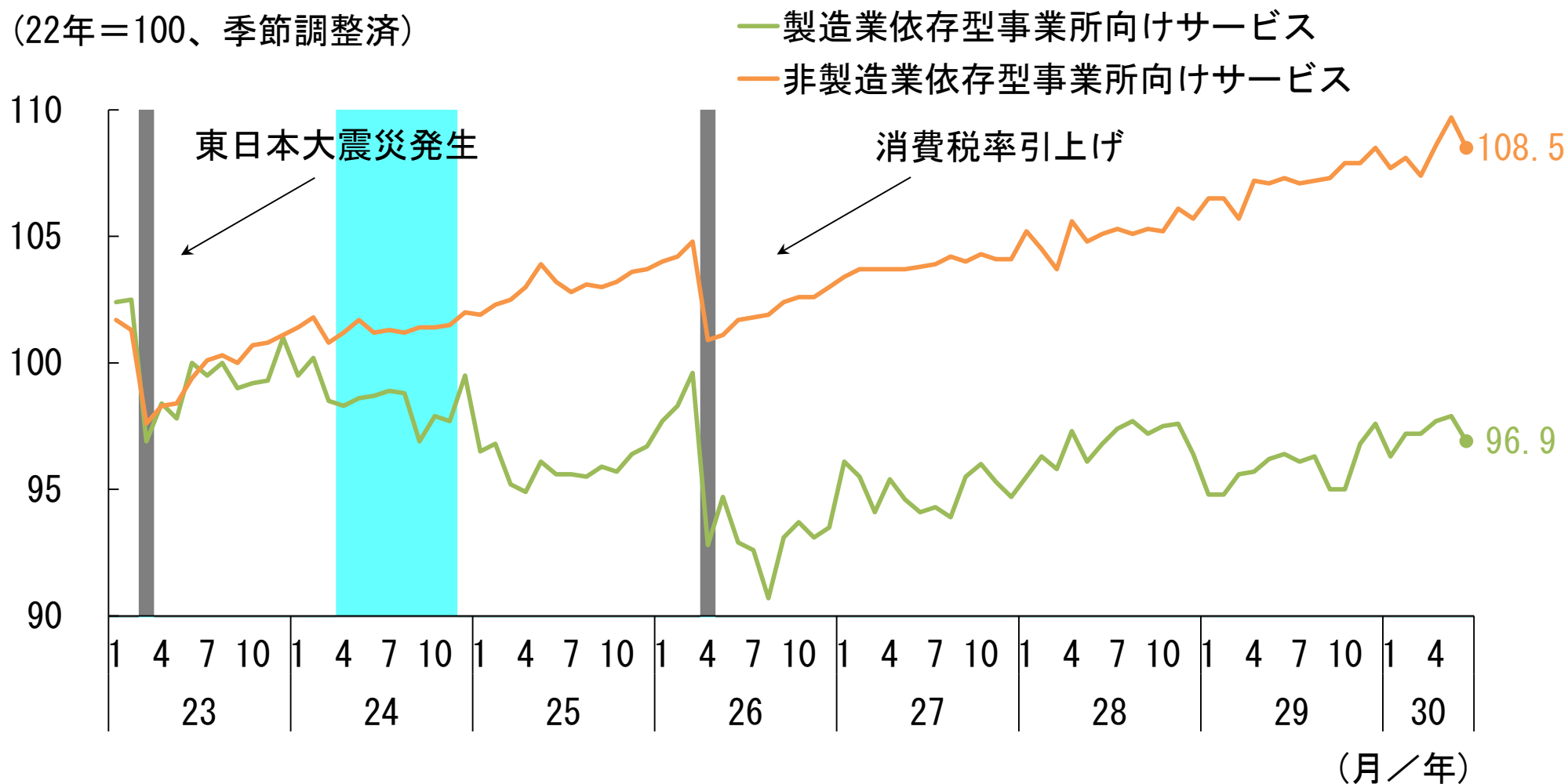
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、96.9(前月比-1.0%)と5か月ぶりの低下。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、108.5(前月比-1.1%)と3か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)



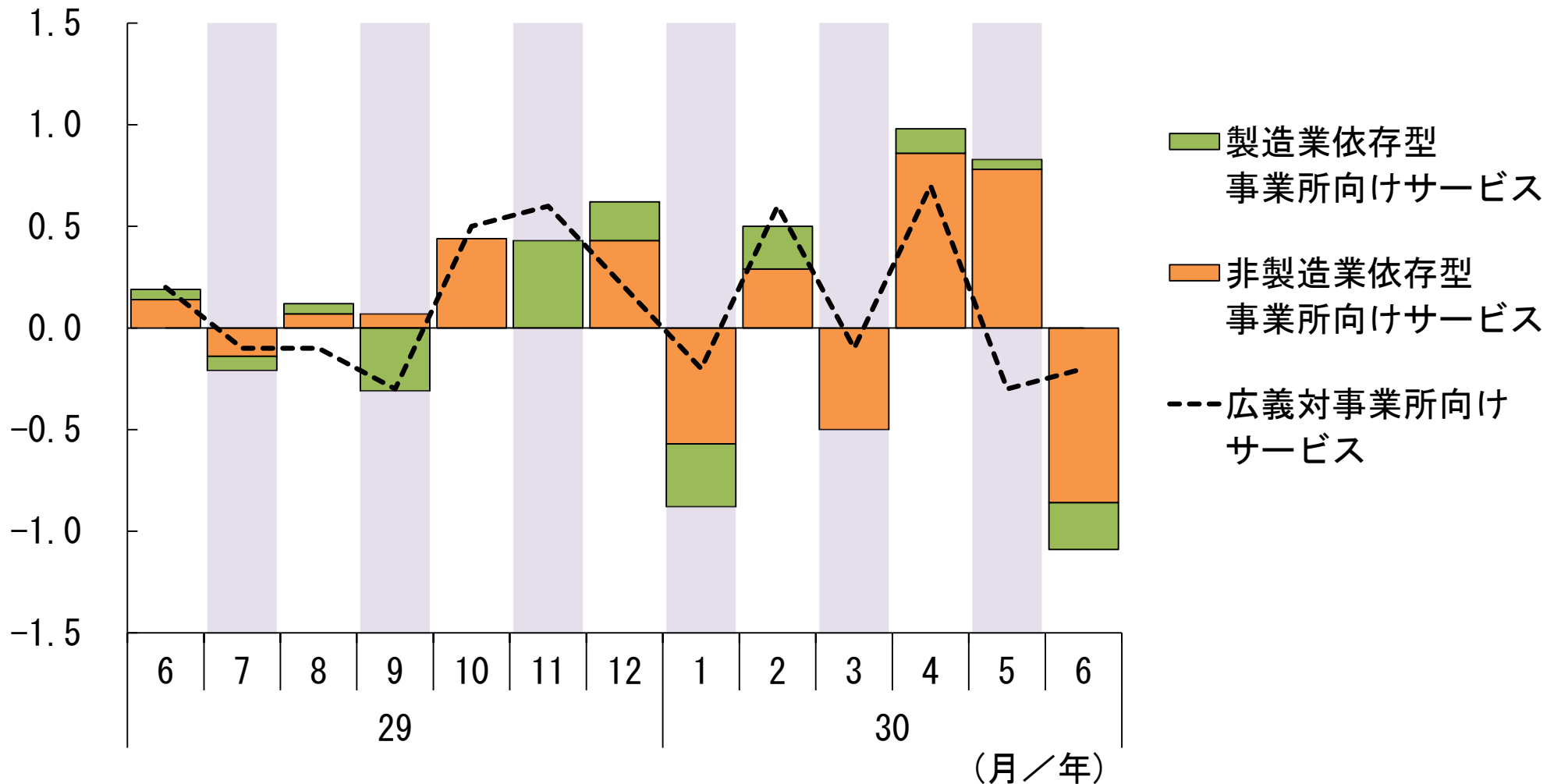
(注) 1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。
2. 水色のシャドウ部分は景気後退局面。

広義対事業所向けサービス活動前月比

製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 平成30年6月の広義対事業所サービス活動指数は、製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに低下したため、前月比-0.2%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

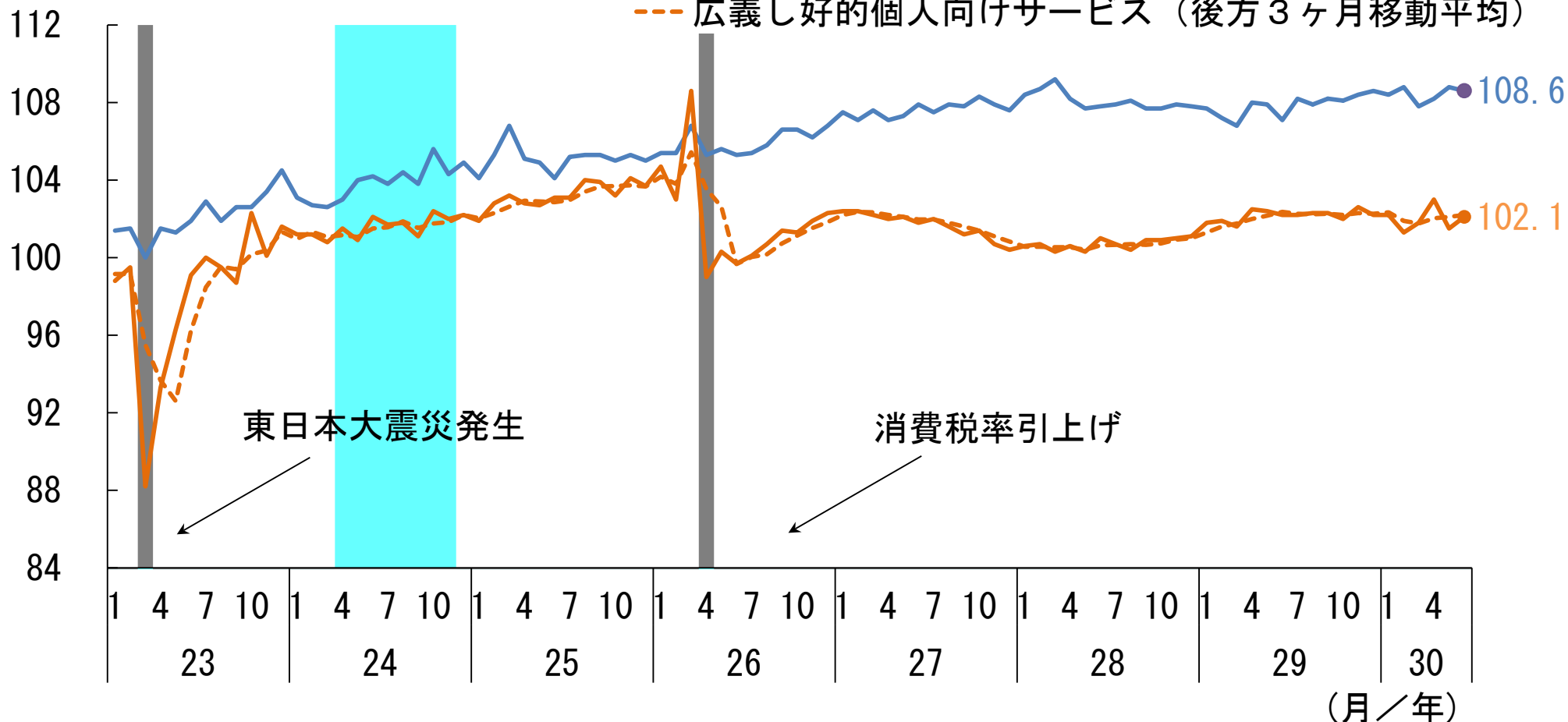


非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- 平成30年6月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、108.6(前月比-0.2%)と3か月ぶりの低下。
- 広義し好的個人向けサービス活動指数は、102.1(前月比0.6%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス
 — 広義し好的個人向けサービス
 - - - 広義し好的個人向けサービス (後方3ヶ月移動平均)

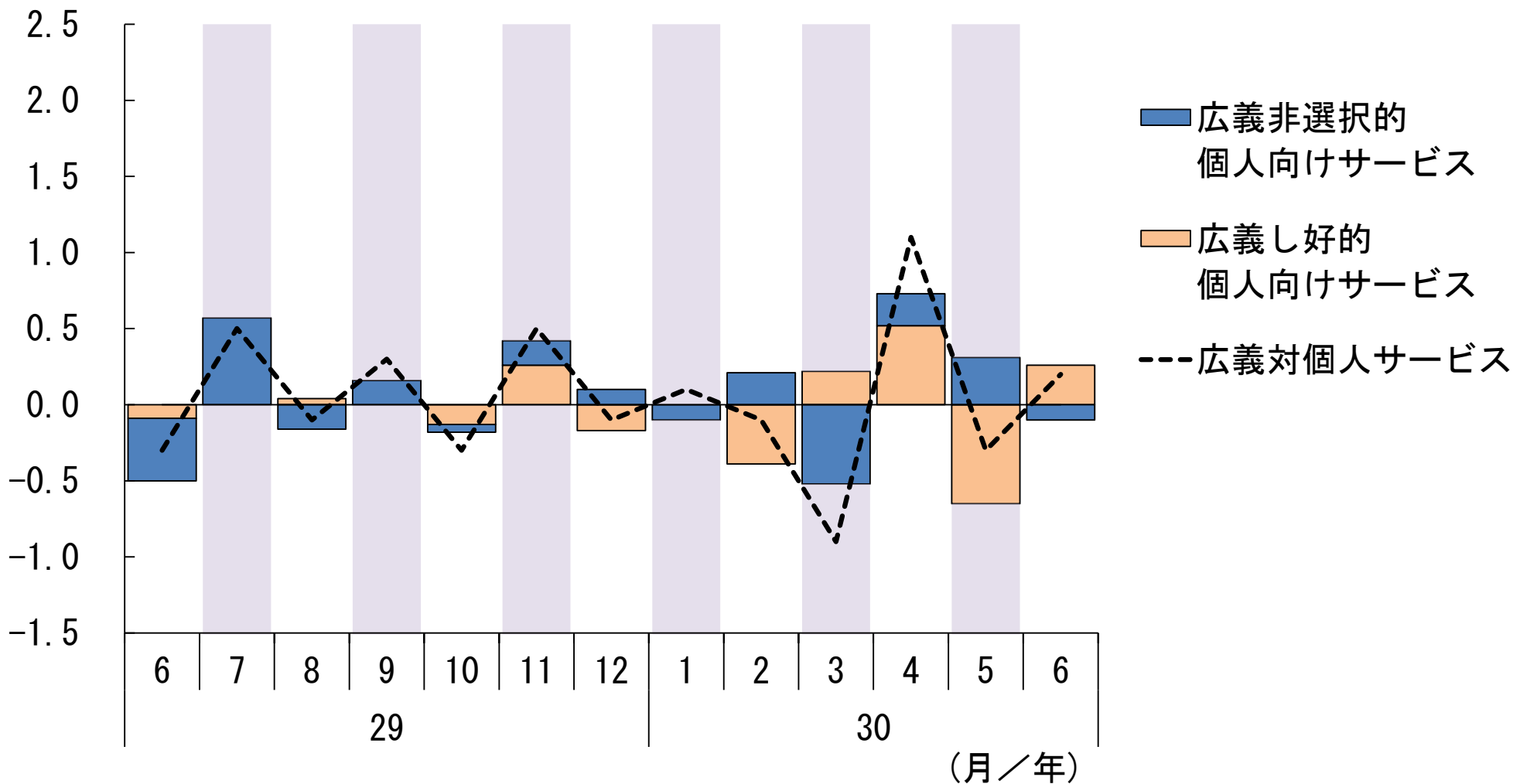


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 平成30年6月の広義対個人サービス活動指数は、広義非選択的個人向けサービスが低下したものの、広義し好的個人向けサービスが上昇したため、前月比0.2%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

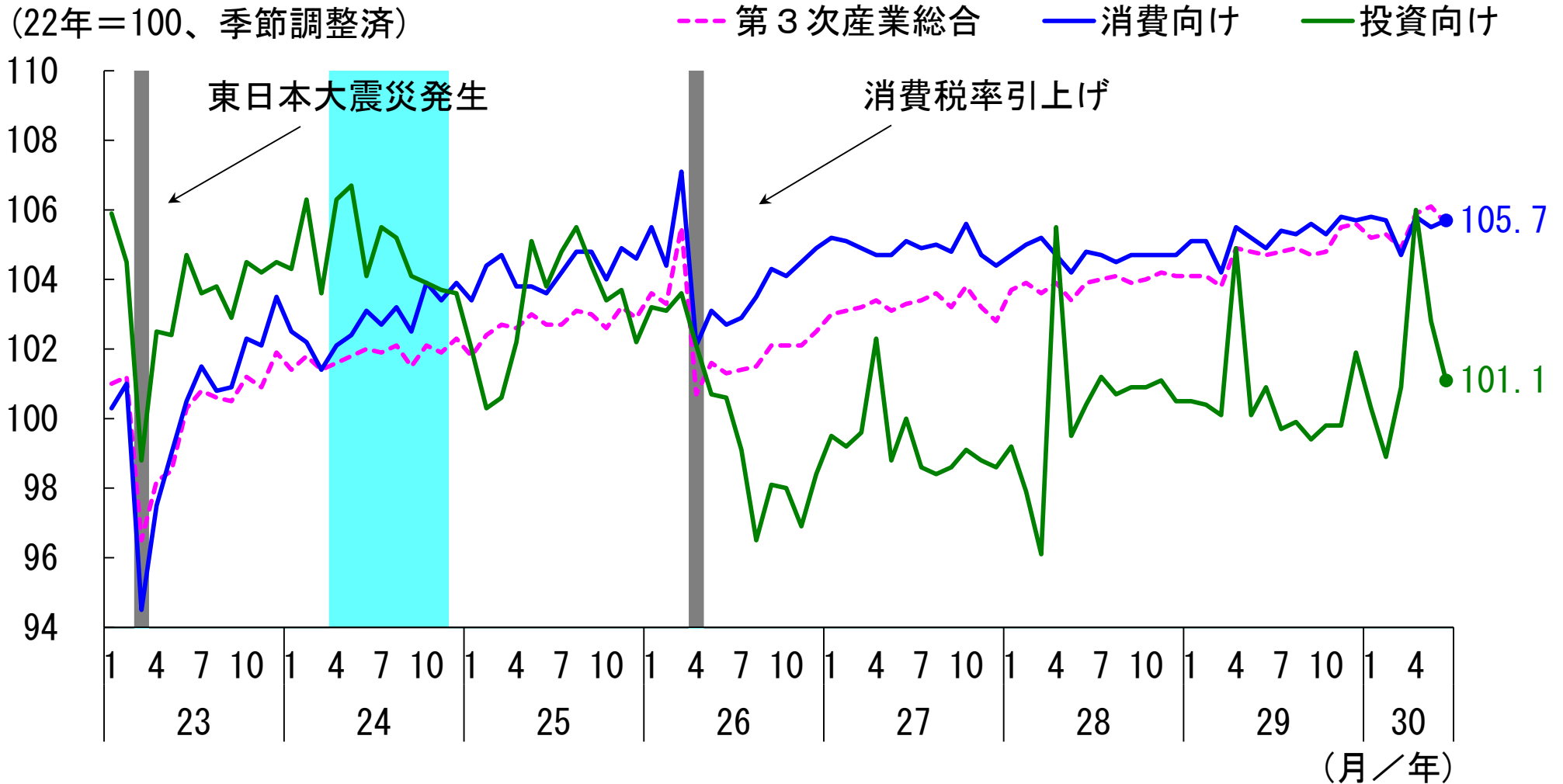
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	電気機械器具卸売業	- 5.7%
	各種商品卸売業	- 4.5%
	全銀システム取扱高	- 3.4%
	その他の情報処理・提供サービス業	- 6.7%
	鉱物・金属材料卸売業	- 2.9%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	受注ソフトウェア	1.6%
	測量	14.6%
	リネンサプライ業	3.6%
	金融仲介業務	0.3%
	ソフトウェアプロダクト(除くゲームソフト)	3.8%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	プロスポーツ(スポーツ系興行団)	- 4.9%
	戸建住宅売買(近畿圏)	- 11.8%
	競馬場	- 5.8%
	機械器具小売業	- 1.2%
	飲食サービス業	- 1.6%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	パチンコホール	5.3%
	戸建住宅売買(首都圏)	19.3%
	ホテル	5.6%
	食堂, レストラン, 専門店	2.1%
	その他の小売業	1.4%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・平成30年6月の消費向けサービス活動指数は、105.7(前月比0.2%)と2か月ぶりの上昇。
- ・投資向けサービス活動指数は、101.1(前月比-1.7%)と2か月連続の低下。

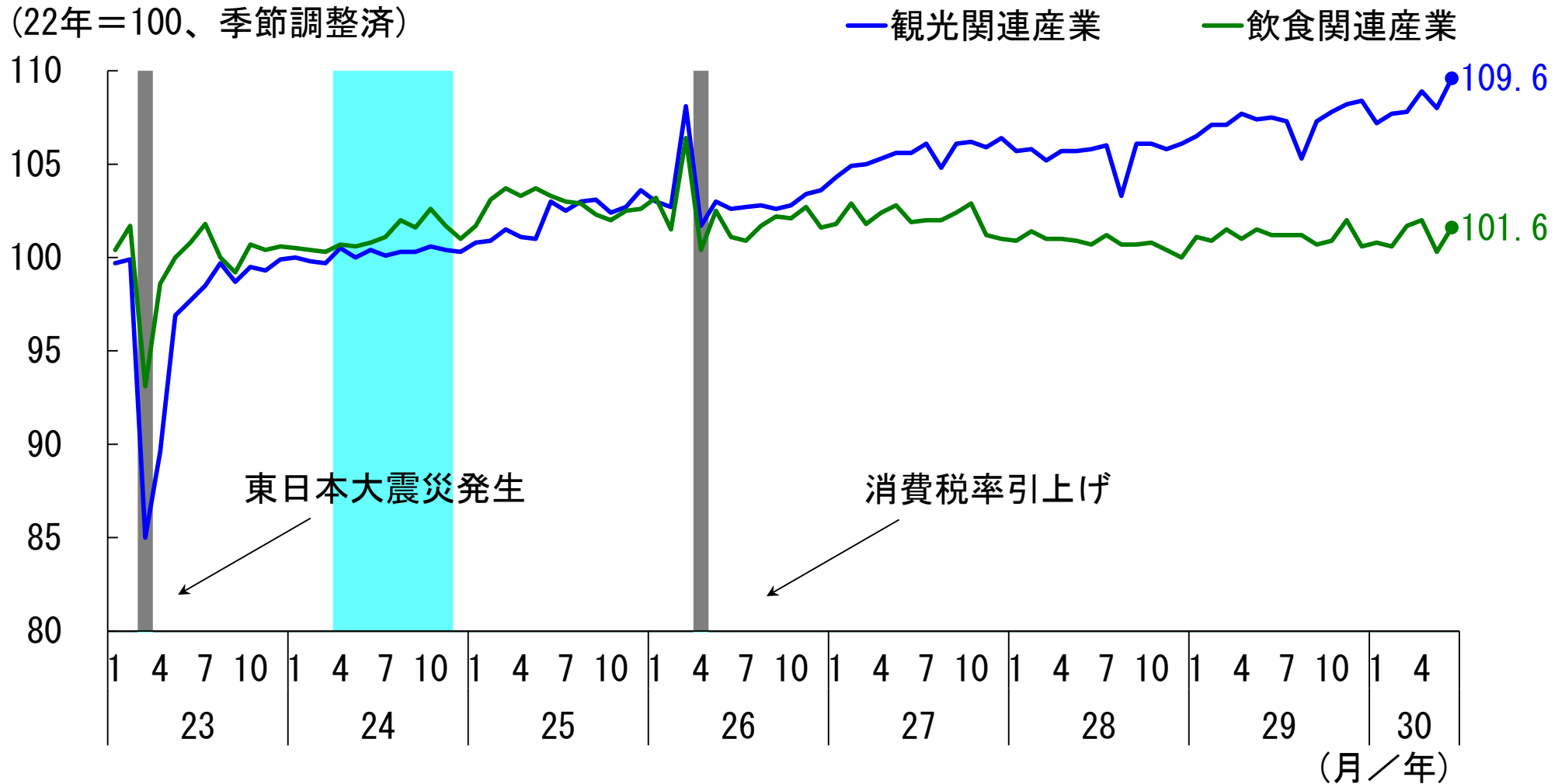
(22年=100、季節調整済)



(注)1. 消費向けサービス活動指数は、非製造業から供給される個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
 投資向けサービス活動指数は、非製造業から供給される民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

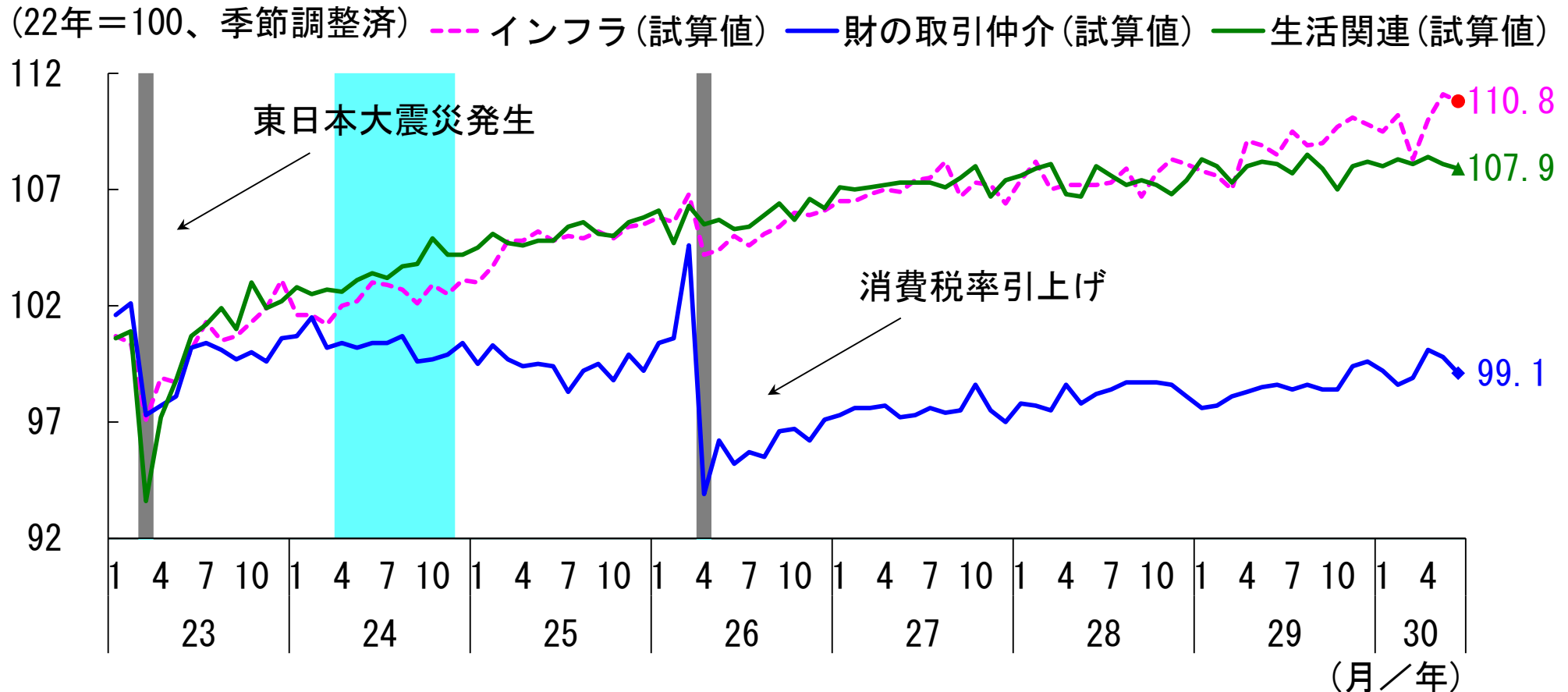
- ・平成30年6月の観光関連産業活動指数は、109.6(前月比1.5%)と2か月ぶりの上昇。
- ・飲食関連産業活動指数は、101.6(前月比1.3%)と2か月ぶりの上昇。



(注)1. 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・平成30年6月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、110.8(前月比-0.3%)と3か月ぶりの低下。
- ・財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、99.1(前月比-0.7%)と2か月連続の低下。
- ・生活関連型サービス活動指数(試算値)は、107.9(前月比-0.2%)と2か月連続の低下。



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

・インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業

・財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業

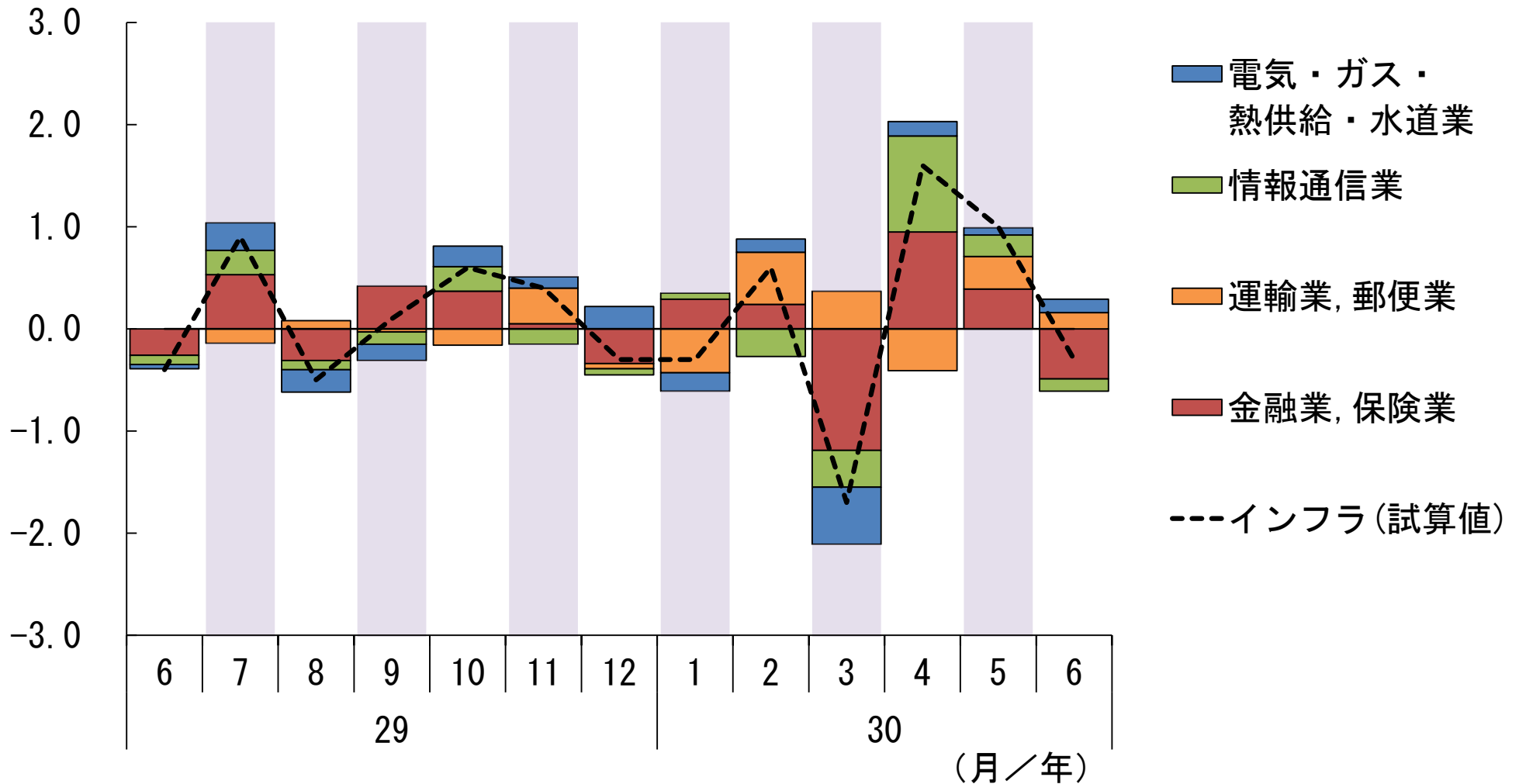
・生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

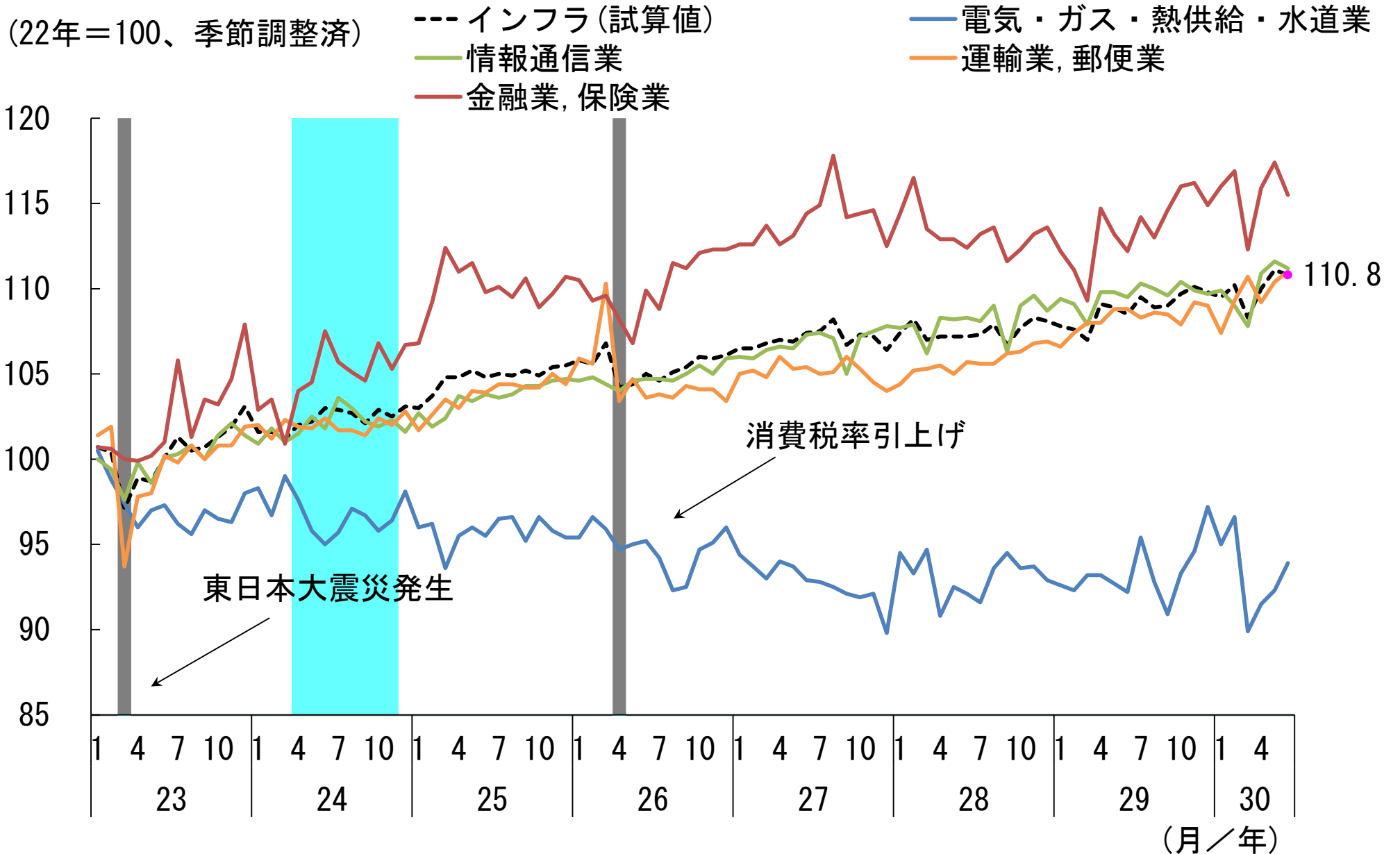
インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

平成30年6月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、運輸業、郵便業などが上昇したものの、金融業、保険業などが低下したため、前月比-0.3%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみたインフラ型サービス活動の動向

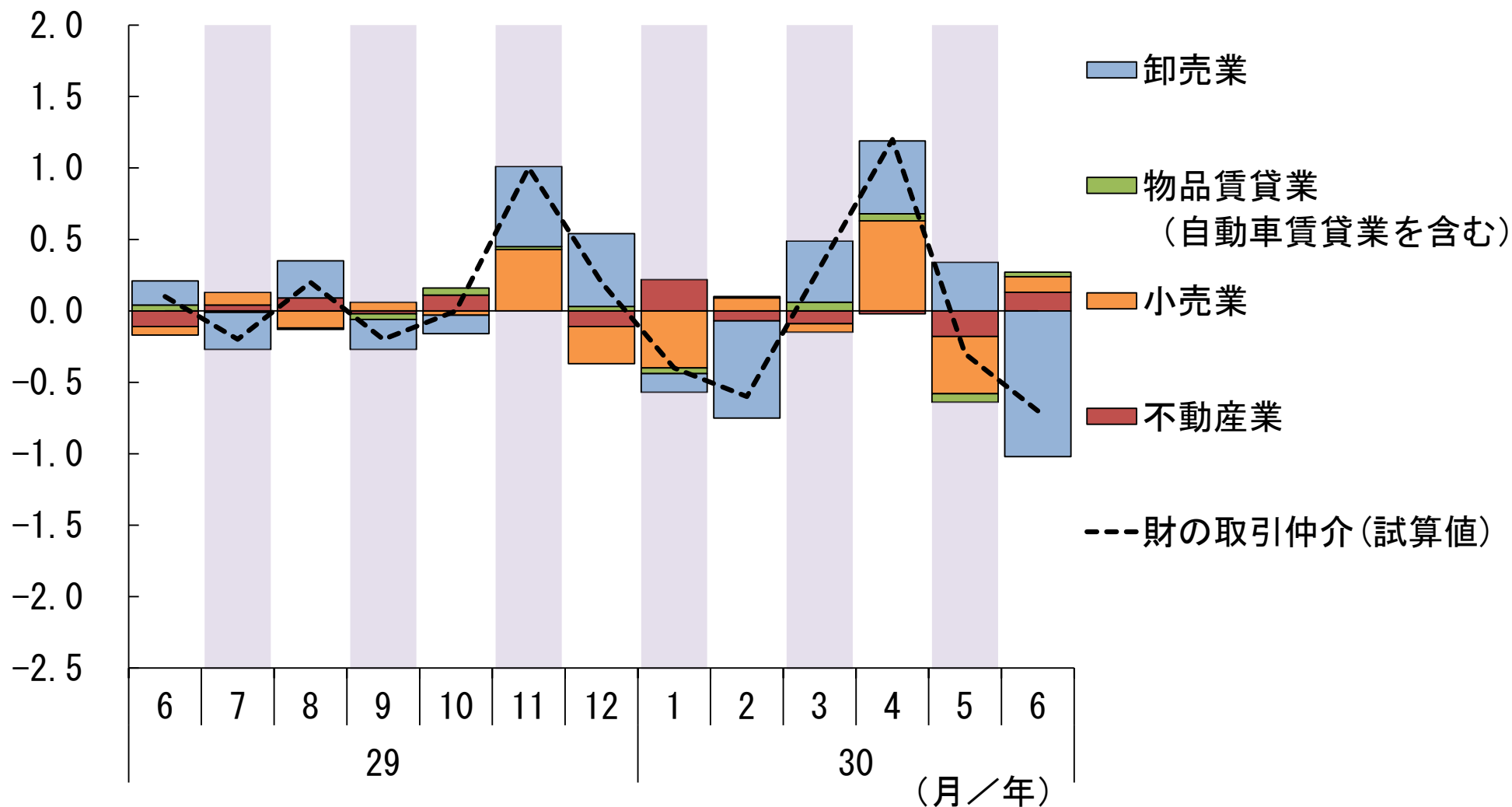


(注)水色のシャドー部分は景気後退局面。

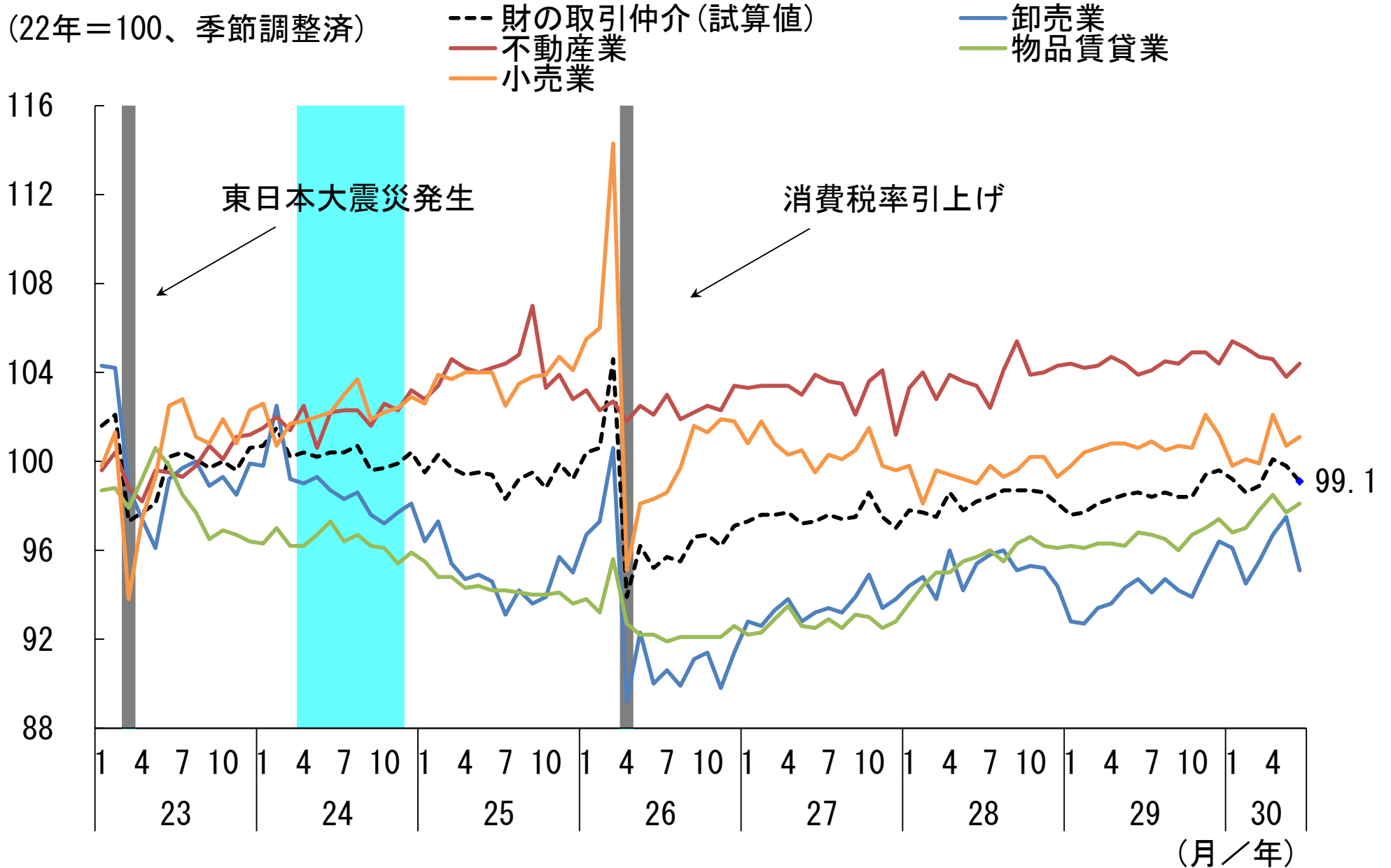
財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・平成30年6月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、不動産業などが上昇したものの、卸売業が低下したため、前月比-0.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

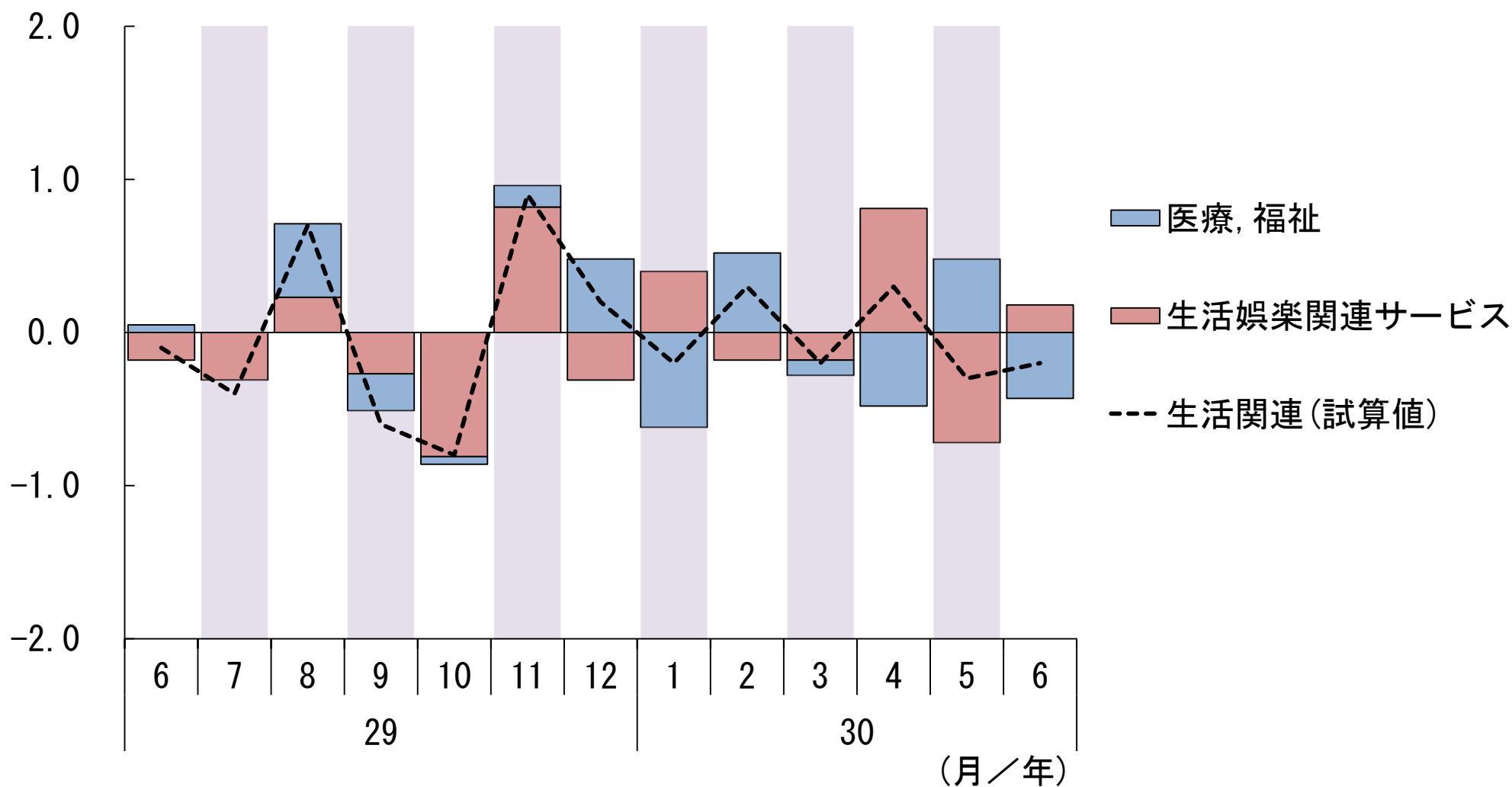


(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・平成30年6月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、生活娯楽関連サービスが上昇したものの、医療、福祉が低下したため、前月比-0.2%の低下。

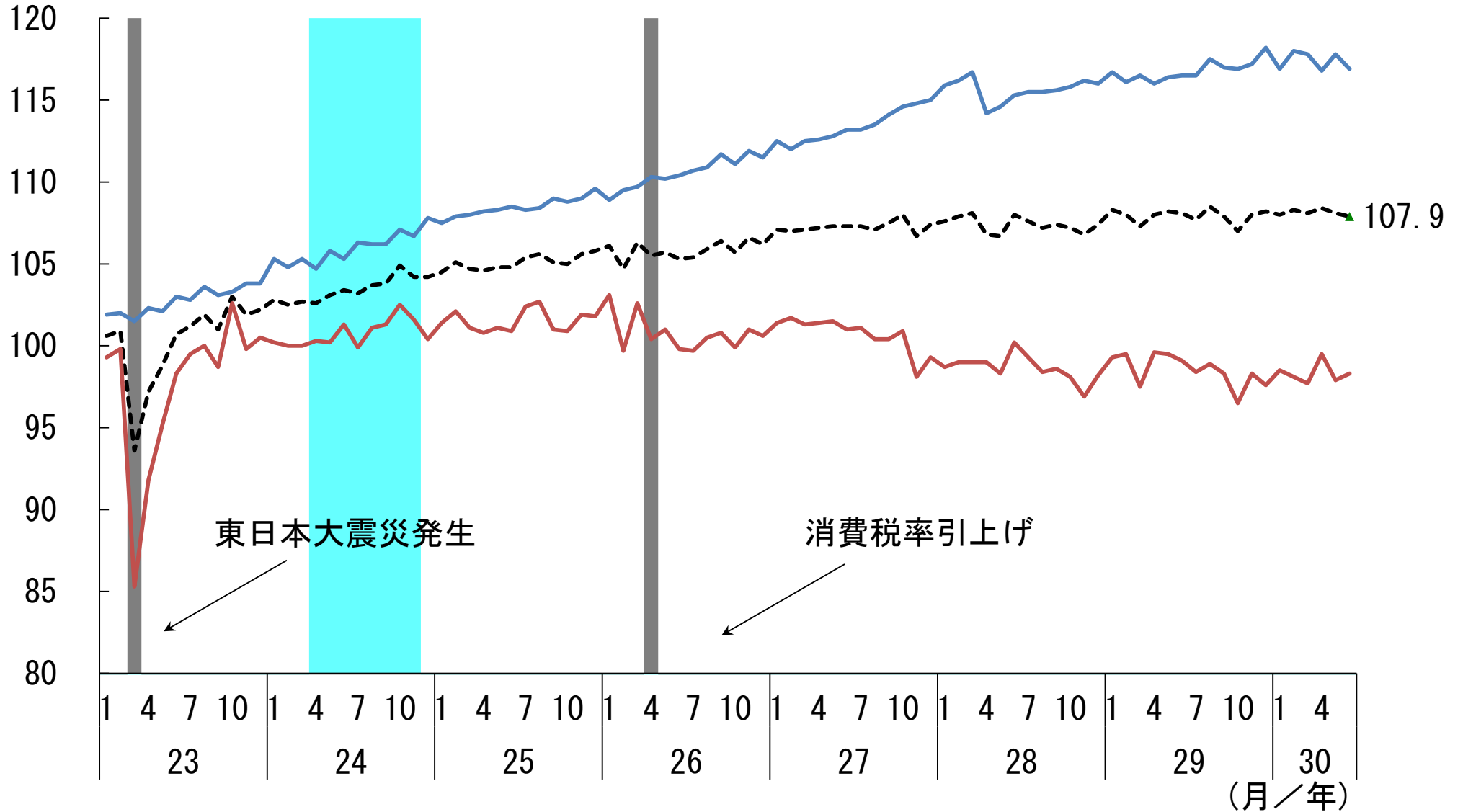
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(22年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成30年4-6月期の第3次産業活動指数の状況

四半期(平成30年4-6月期)	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	105.9	105.7	105.9
前期比	0.8%	0.3%	0.5%
指数水準	22年基準の最高水準	22年基準の最高水準タイ	20年3期 107.9以来
	I 30年2期 105.9	I 26年1期 105.7	I 20年1期 111.6
	II 20年1期 105.5 III 29年4期 105.3	I 30年2期 105.7 III 29年4期 105.6	II 20年2期 110.3 III 20年3期 107.9
前期比の動き	2期ぶり+ (29年4期以来)	2期ぶり+ (29年4期以来)	3期連続+ (29年4期以降)
前期比幅	27年1期 0.9%以来 I 23年3期 1.6% II 26年1期 1.2% III 22年1期 1.0%	29年2期 0.4%以来 I 23年3期 2.1% II 23年4期 1.5% III 22年1期 1.1% III 26年1期 1.1%	29年4期 0.8%以来 I 23年3期 1.4% I 26年1期 1.4% III 22年1期 1.0% III 26年4期 1.0%
原指数 前年同期比	1.1%	0.5%	1.7%
前年同期比の動き	5期連続+ (29年2期以降)	5期連続+ (29年2期以降)	13期連続+ (27年2期以降)
前年同期比幅	29年2期 1.2%以来 I 24年2期 3.0% II 24年1期 2.7% III 26年1期 2.0%	30年1期 0.6%以来 I 24年1期 4.3% II 24年2期 3.6% III 23年4期 2.5%	27年3期 1.8%以来 I 26年1期 2.3% II 24年2期 2.2% III 27年2期 1.8% III 27年3期 1.8%

(注) I～Ⅲは平成22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

平成30年4-6月期の第3次産業活動指数は、情報通信業や卸売業などが上昇したことから、前期比0.8%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

